

Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2022年7月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし）」は、2022年7月25日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）
信託期間	2021年7月20日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

<照会先>

電話番号：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		騰落 中率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	込配 み金			
(設定日)	円		円	%	%	百万円
2021年7月20日	10,000		—	—	—	51
1期(2022年7月25日)	11,682		0	16.8	95.6	234

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		騰落 率	投資信託 組入比率	託券率
			騰落			
(設定日)	円			%		%
2021年7月20日	10,000			—		—
7月末	10,027			0.3		98.8
8月末	9,934			△ 0.7		97.0
9月末	9,645			△ 3.6		99.2
10月末	10,196			2.0		99.5
11月末	10,110			1.1		97.5
12月末	10,330			3.3		95.8
2022年1月末	10,277			2.8		96.6
2月末	10,846			8.5		97.4
3月末	11,735			17.4		99.5
4月末	12,040			20.4		99.0
5月末	11,791			17.9		99.0
6月末	12,328			23.3		99.0
(期末)						
2022年7月25日	11,682			16.8		95.6

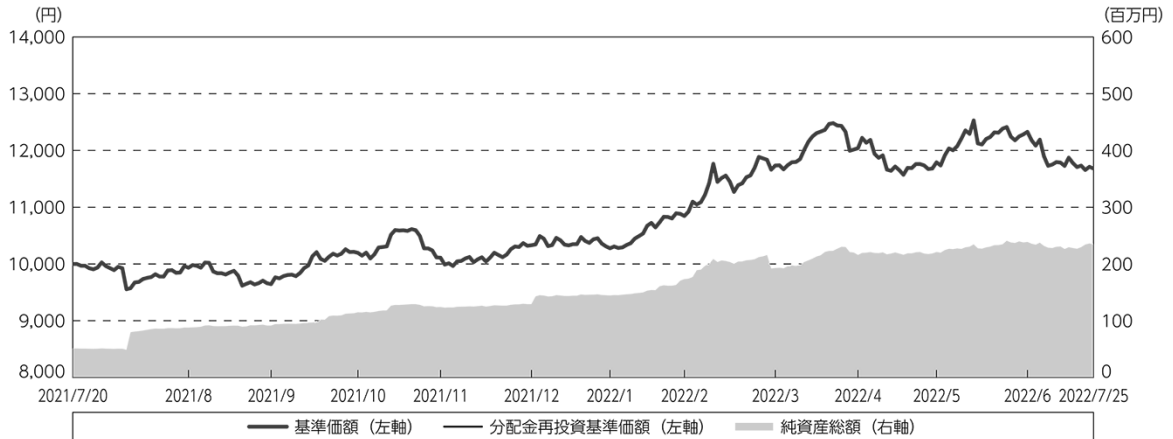
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2021年7月20日～2022年7月25日)

期中の基準価額等の推移



設定時：10,000円

期 末：11,682円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 16.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて投資を行った結果、当ファンドの基準価額は設定時10,000円から当期末11,682円となり、1,682円の値上がりとなりました。

金価格は下落しましたが、為替の影響により基準価額は上昇しました。

投資環境

金市況

金価格は、設定時と比較して下落しました。期前半の金市況は、方向感の定まらない展開となりました。新型コロナウイルスの接種進展による経済正常化を背景とする金利先高観が金利のつかない金の売り材料となりました。一方、供給制約問題などを背景とする物価上振れリスクの高まりがインフレヘッジ手段である金の価格を下支えしました。2022年以降は、ウクライナ情勢悪化による先行き不透明感が強まり、安全資産とみなされる金の価格は一時大きく上昇する場面が見られました。その後は、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ抑制姿勢を強め、金融政策の正常化を加速させたことを背景に米金利は急上昇し、金の価格は反落しました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドルに対して円安となりました。

米国における高インフレ環境の長期化懸念からFRBによる金融政策正常化ペースの急速な進行を織り込み、一時1998年以来となる1米ドル＝138円台まで円安米ドル高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

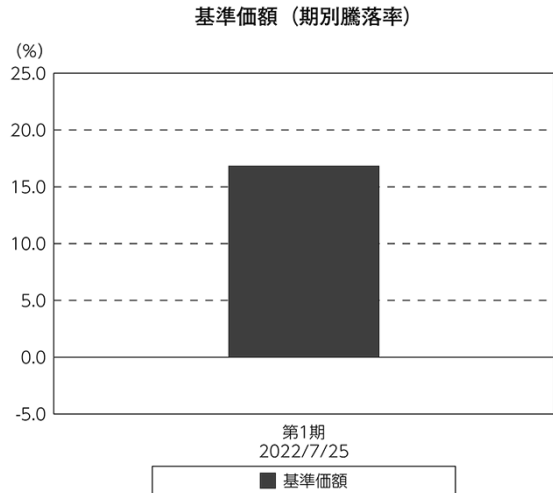
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）

日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第1期
	2021年7月20日～ 2022年7月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,681

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。

RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）

引き続き、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年7月20日～2022年7月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	30	0.280	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(14)	(0.129)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(14)	(0.129)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.059	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(6)	(0.059)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.093	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.009)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	46	0.432	
期中の平均基準価額は、10,771円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

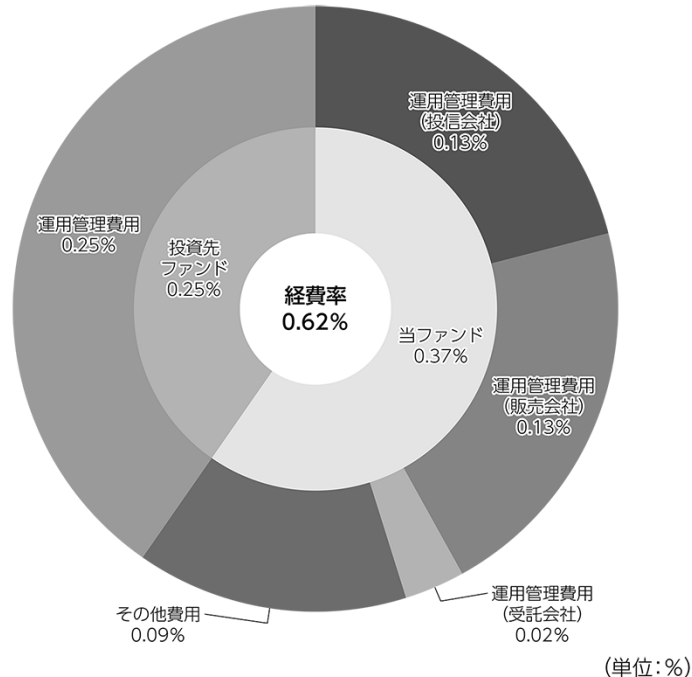
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.62%です。



経費率(①+②)	0.62
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、マザーファンドが組入れているETF（上場投資信託証券）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年7月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）	千口 248,143	千円 265,553	千口 48,350	千円 56,459

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年7月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月20日～2022年7月25日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年7月20日～2022年7月25日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2022年7月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）		199,792	235,116

○投資信託財産の構成

(2022年7月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）	千円 235,116	% 99.6
コール・ローン等、その他	950	0.4
投資信託財産総額	236,066	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）において、当期末における外貨建純資産（234,311千円）の投資信託財産総額（235,109千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=136.63円。

○特定資産の価格等の調査

(2021年7月20日～2022年7月25日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月25日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	236,066,739
コール・ローン等	950,441
RMゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)(評価額)	235,116,298
(B) 負債	1,773,888
未払解約金	1,477,961
未払信託報酬	287,051
未払利息	2
その他未払費用	8,874
(C) 純資産総額(A-B)	234,292,851
元本	200,559,303
次期繰越損益金	33,733,548
(D) 受益権総口数	200,559,303口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,682円

(注) 当ファンドの設定時元本額は51,000,000円、期中追加設定元本額は240,303,372円、期中一部解約元本額は90,744,069円です。
(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.1682円です。

○損益の状況 (2021年7月20日～2022年7月25日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 358
支払利息	△ 358
(B) 有価証券売買損益	15,268,267
売買益	25,106,488
売買損	△ 9,838,221
(C) 信託報酬等	△ 442,954
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,824,955
(E) 追加信託差損益金	18,908,593
(配当等相当額)	(△ 134)
(売買損益相当額)	(18,908,727)
(F) 計(D+E)	33,733,548
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	33,733,548
追加信託差損益金	18,908,593
(配当等相当額)	(△ 378)
(売買損益相当額)	(18,908,971)
分配準備積立金	14,826,830
繰越損益金	△ 1,875

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(14,826,830円)、および信託約款に規定する収益調整金(18,907,096円)より分配対象収益は33,733,926円(1万口当たり1,681円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）

運用報告書

第1期（決算日 2022年7月25日）
（2021年7月20日～2022年7月25日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2021年7月20日から無期限です。
運用方針	①主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ②ETF（上場投資信託証券）の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ③組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要投資対象	・金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2021年7月20日	10,000		—	—	50
1期(2022年7月25日)	11,768		17.7	95.3	235

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本=10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率
		騰	落	
(設定日)	円		%	%
2021年7月20日	10,000		—	—
7月末	10,028		0.3	98.9
8月末	9,951		△ 0.5	97.1
9月末	9,665		△ 3.4	99.3
10月末	10,218		2.2	99.6
11月末	10,144		1.4	97.6
12月末	10,367		3.7	95.8
2022年1月末	10,317		3.2	96.7
2月末	10,894		8.9	97.4
3月末	11,810		18.1	99.4
4月末	12,128		21.3	97.2
5月末	11,875		18.8	99.1
6月末	12,417		24.2	99.1
(期 末)				
2022年7月25日	11,768		17.7	95.3

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

（2021年7月20日～2022年7月25日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

基準価額は設定時10,000円から当期末11,768円となり、1,768円の値上がりとなりました。

金価格は下落しましたが、為替の影響により基準価額は上昇しました。

基準価額等の推移

（2021年7月20日～2022年7月25日）



投資環境

金市況

金価格は、設定時と比較して下落しました。前半の金市況は、方向感の定まらない展開となりました。新型コロナウイルスの接種進展による経済正常化を背景とする金利先高観が金利のつかない金の売り材料となりました。一方、供給制約問題などを背景とする物価上振れリスクの高まりがインフレヘッジ手段である金の価格を下支えしました。2022年以降は、ウクライナ情勢悪化による先行き不透明感が強まり、安全資産とみなされる金の価格は一時大きく上昇する場面が見られました。その後は、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ抑制姿勢を強め、金融政策の正常化を加速させたことを背景に米金利は急上昇し、金の価格は反落しました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドルに対して円安となりました。

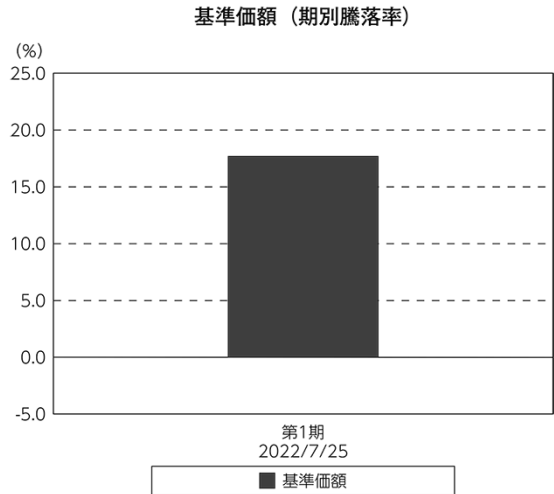
米国における高インフレ環境の長期化懸念からFRBによる金融政策正常化ペースの急速な進行を織り込み、一時1998年以来となる1米ドル＝138円台まで円安米ドル高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



○今後の運用方針

引き続き、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月20日～2022年7月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 6 (6)	% 0.059 (0.059)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (8) (1)	0.084 (0.075) (0.009)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	15	0.143	
期中の平均基準価額は、10,817円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年7月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	55,929	1,947	5,880	212

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等

（2021年7月20日～2022年7月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2021年7月20日～2022年7月25日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2022年7月25日現在）

外国投資信託証券

銘	柄	当 期 末			
		口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	千米ドル	千円	%
ISHARES GOLD TRUST		50,049	1,639	223,950	95.3
合 計		50,049	1,639	223,950	
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 95.3% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

（2022年7月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 223,950	% 95.3
コール・ローン等、その他	11,159	4.7
投資信託財産総額	235,109	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（234,311千円）の投資信託財産総額（235,109千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=136.63円。

○特定資産の価格等の調査

（2021年7月20日～2022年7月25日）

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年7月25日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	235,656,397	
コール・ローン等	11,159,076	
投資信託受益証券(評価額)	223,950,881	
未収入金	546,440	
(B) 負債	546,442	
未払金	546,440	
未払利息	2	
(C) 純資産総額(A－B)	235,109,955	
元本	199,792,912	
次期繰越損益金	35,317,043	
(D) 受益権総口数	199,792,912口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,768円	

(注) 当ファンドの設定時元本額は50,960,000円、期中追加設定元本額は197,183,457円、期中一部解約元本額は48,350,545円です。

(注) 2022年7月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし） 199,792,912円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.1768円です。

○損益の状況（2021年7月20日～2022年7月25日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 1,517	
受取利息	425	
支払利息	△ 1,942	
(B) 有価証券売買損益	26,139,856	
売買益	40,380,338	
売買損	△14,240,482	
(C) 保管費用等	△ 122,384	
(D) 当期損益金(A+B+C)	26,015,955	
(E) 追加信託差損益金	17,409,543	
(F) 解約差損益金	△ 8,108,455	
(G) 計(D+E+F)	35,317,043	
次期繰越損益金(G)	35,317,043	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。